発行 清田地区町内会連合会
〒004-0841 清田区清田1条2丁目
清田区民センター内 TEL:886-3630

清流あしりべつ

自分たちのまちは自分たちの手で

清田地区町内会連合会会長　猪野毛　昭男

清田町連は創立59周年を迎えました。

「自分たちのまちは自分たちの手で」を基本に「明るく、楽しく、住みよい」清田地区を目指しましょう。

さて、コロナウイルスと共生する時代となりました。

清田地区の大きな課題の一つは超高齢化社会への対応です。「誰しもが安心して暮らせるまちづくり」を目指します。住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の皆様と一緒になり、「困った時はお互いに」協力し合うまちを目指します。そして、向こう三軒両隣の気持ちで、「孤立死」を絶対に一人も出さない見守り活動を続けます。

町連としては、ほかに次の重要課題に取り組みます。

1 賑わう地域交流拠点清田の形成
2 清田警察署設置の早期促進
3 地下鉄東豊線延伸の実現
4 町内会未加入者への積極的勧誘

地域の皆様と連携し、賑わいを創出する活動に取り組みます

清田区長　知野　学

本年4月に清田区長に着任いたしました知野（ちの）です。

「清流あしりべつ」の発刊にあたり機会をいただきましたので、清田地区の皆さまに謹んでご挨拶申し上げます。

皆さまには、日頃から清田区のまちづくりに対して、さまざまな場面でご理解・ご協力いただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。また、町内会連合会を中心とした「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」での環境美化活動や防犯ボランティア研修会、不法投棄巡回パトロールなど、日々、さまざまな地域活動に取り組んでおられていることに、心より敬意を表します。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症もひと段落し、昨年からは札幌の初夏を彩る「さっぽろライラックまつり」や「YOSAKOIソーラン祭り」などの大規模な催しも開催されるようになりました。

清田区においても、昨年から実行委員会主催による「清田ふれあい区民まつり」を再開しており、これからも、地域にお住いの皆さまや学校など、さまざまな方々と連携して地域の賑わいを創出していく取組を進めてまいります。

また、地域の皆さまが安全で安心な暮らしを送ることができるよう防犯・防災活動、地域の見守りや健康づくり、子育てに対する支援など、さまざまな取り組みを進めてまいりますので、今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、この清田地区町内会連合会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

清田町連 令和5年度定例総会

誰もが安心して暮らせるまちを作ろう！

清田地区町内会連合会は4月15日（土）、令和5年度定例総会を清田区民センターで開催しました。令和5年度の基本方針として「高齢者の見守りと日常支援を柱に、お互いに支え合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す。『困ったときはお互い様』の輪を広げ、向こう三軒両隣の気持ちを大事にする」ことを確認しました。地下鉄清田延伸や清田警察署の設置など懸案課題についても引き続き取り組んでいきます。

任期満了（2年）による役員改選を行い、全員、再選されました。役員は次の通り。

- 会　長　猪野毛昭男
- 副会長　住吉誠一、田崎克文、片倉武吉
- 監　事　設楽省三、長屋俊一

令和5年度清田町連定例総会＝4月15日

4氏が新たに町連部長に就任

今年度から次の4氏が新たに町連部長に就任しました。各部長の名簿は4ページをご覧ください。

福祉厚生部長
宮下　敬敏

保健衛生部長
林　一彦

防災防犯部長
小竹　克美

交通安全対策部長
今野　哲郎

清田小学校児童が田植え

清田小学校の5年生児童約60人が5月25日（木）、同校グラウンド端にある水田「夢田んぼ・あしりべつ」で田植えを行いました。

水田は70坪の広さがあり、札幌清田ライオンズクラブが2005年に「かつてこの地には水田が広がっていたことを子供たちに伝えたい」と寄贈したものです。

児童たちは、はだしで田んぼに入り、泥だらけになって稲の苗を植えこみました。清田ライオンズクラブの会員が夏の間、草刈りなどを行い、秋には児童たちと稲刈りを行います。

元気に田植えをする清田小の児童たち

今年も厚別川に鯉のぼりを掲揚

あしりべつ川の会

今年も4月23日～5月6日まで、清田の厚別川（あしりべつ川）に鯉のぼり80匹が掲揚されました。地元のNPO法人あしりべつ川の会が2003年から毎年、国道36号「清田橋」と旧道「厚別橋」（あしりべつ橋）の間の厚別川に掲揚しているもので、今年で21回目でした。

清田幼稚園など区内の幼稚園・保育園5園の子供たちが描いた鯉のぼりも一緒に掲揚されました。

鯉のぼりと「あしりべつ川の会」の皆さん

新任町内会長

地域の先導役、仲介役として

清田町内会長
濱本　武司

この度、清田町内会の会長になりました濱本です。昭和52年から町内会にお世話になっております。町内会では、地域に暮らす者同士の繋がりを深めるための活動を行い、また町連などと連携を図った事業にも参加しております。それぞれの活動や事業が内容のあるものとなるよう、先導役、ある時には仲介役として働きたいと考えております。

2018年秋の胆振東部地震では、災害への心構えと対策の大切さを思い知らされました。清田区を南北に流れているあしりべつ川は、昔は暴れ川だったようです。想定外の降雨があった場合には氾濫の可能性があります。昨年、ハザードマップが全世帯に配布されましたので有効活用したいものです。

快適な環境づくりを目指し、お互いに安心して暮らせる地域を築いていければ、と思います。

互いに支え合える町内会に

東真栄町内会長
大橋　秀雄

今年度より東真栄町内会長に就任した大橋です。東真栄町内会を紹介します。当町内会は今年度で創立58年を迎え、会員数440戸の歴史ある町内会です。

災害避難訓練を平成24年度より実施。防犯活動では、防犯ボランティア員が現在20名以上で活動し、真栄小学校の登下校の見守りを行っています。また、高齢者の災害時支援や独居高齢者の見守り等の体制整備の一環として、現在、町内会会員の同居者を含めた家族単位の会員名簿を作成中です。

環境衛生事業では、2年前に小規模グループ（6～7戸）のごみステーションに改善しました。そして町内19班割を21班割に変更し、「向こう三軒両隣り」で、互いに支え合える体制づくりに日々努力しています。今年度秋までに防犯カメラも設置します。

スローガン「きれいで、安心安全、暮らして良かった東真栄町内会」を掲げて、さらに充実させてまいりたいと思います。

清田地区懇談会を開催

清田地区のまちづくりについて地域住民と清田区職員が意見を交わす清田地区懇談会が6月28日（水）、清田区民センターで行われました。

清田区からは知野学区長はじめ12名の職員が出席。地域からは清田町連の猪野毛会長はじめ町連役員、町内会長、地区の小中学校校長、団体・企業関係者ら43名が出席しました。清田区から2023年度の主な事業の説明があり、地域からは真栄団地町内会の山田会長から「生活支援と町内会の担い手発掘の取り組み」について報告がありました。

清田地区懇談会

ビバホーム前で交通事故防止総決起集会

春の交通安全運動期間中の5月12日（金）、清田区交通事故防止総決起集会がスーパービバホーム清田羊ヶ丘通店駐車場で開かれました。清田区交通安全運動推進委員会の主催で、区内の町内会などから約230人が参加しました。

知野清田区長と香西豊平警察署長、猪野毛清田町連会長らが交通安全を呼びかけた後、参加者は羊ヶ丘通りで、交通安全の旗を持ってドライバーに安全運転を呼びかける街頭啓発を行いました。

交通事故防止総決起集会

町内会のお祭り 再開へ

今年は、町内会のお祭りが以下の通り4年ぶりに再開します（予定）。▽真栄第一町内会は7月29日（土）、真栄わんぱく公園▽美しが丘町内会は8月5日（土）、美しが丘四季の公園▽新平岡町内会は8月6日（日）、西友東空き地▽真栄団地町内会は8月11日（金・祝）、真栄さぼてん公園でそれぞれ夏祭りを開催。▽真栄第四町内会は8月27日（日）、佐々木農園広場で園遊会を開催。▽真栄第三町内会は9月16日（土）、ふれあい祭りを真栄第一公園で開催します。

真栄公園で開催していた真栄5町内会合同盆踊り大会は今年も中止です。

地下鉄清田延伸に注目の動き

秋元市長が相次ぎ前向き発言

秋元札幌市長は従来、「地下鉄清田延伸は採算性に難があり難しい」と言ってきましたが、昨年夏頃より、少し姿勢が変化し、地下鉄延伸に前向きな発言を相次いで行っています。

「もう一度需要推計をやり直す」「ラピダスの千歳への次世代半導体工場建設などで、（清田方面の）人の流れも変わって来る」「札幌の大雪災害の際の地下鉄の価値は大きい」「地下鉄延伸を含めた交通整備について住民の人と一緒に考えていきたい」等々の発言が相次いでいるのです。

これらは「清田ふれあい区民まつり」（昨年7月）や、清田区と豊平区の町連などでつくる地下鉄東豊線建設促進期成会の市長への要望活動（昨年11月）、今年4月の市長選の際などの秋元市長の発言です。

また、上田文雄前市長は今年4月、「国が認可条件について『30年で黒字化』にこだわらない方針を昨年2月に表明したのだから、地下鉄延伸をきちんと検討したらいい」と地下鉄東豊線建設促進期成会に答えました。

上田前市長は、地下鉄を清田まで延伸させる方針だったそれまでの市の構想を「採算性に難がある」としてストップさせた市長です。秋元市長も基本的にその姿勢を受け継いできました。しかし、今やストップをかけた前市長も「延伸」に舵を切った形です。

そして、今、何より追い風なのは、国家プロジェクトとも言えるラピダスの千歳工場建設です。ラピダスは苫小牧－千歳－札幌－石狩に至る一帯をデジタル産業の一大集積基地とする「北海道バレー構想」を提唱しています。このような動きを受けて、千歳方面のゲートウェイである清田まで地下鉄を延伸する可能性について、秋元市長を含め関係者から言及する声が上がっています。（川島亨）

市長選の街頭演説で地下鉄延伸に前向きな発言をした秋元市長＝3月28日、清田区役所前

11の町内会で構成 清田地区町内会連合会

清田、清田有楽、新平岡、真栄第一、真栄第二、真栄第三、真栄第四、東真栄、真栄団地、美しが丘、有明

清田地区町連公式ホームページ
URL https://kiyota-shinnei.kiyotamin.net/

あしりべつ郷土館に行こう

■場　　所：清田区民センター2階
■開 館 日：水曜・土曜
■開館時間：10時～16時　■入場無料

あしりべつ郷土館ホームページ
URL https://ashiribetsu-museum.com/

街に彩り！各町内会で花植え

コロナが少し下火になり、今春、各町内会で道路沿いの花植えが行われました。街に彩りと潤いを与えています。

真栄第二町内会は5月28日（日）、43名が参加して真駒内御料線の両側花壇に花植えを行いました。東真栄町内会は5月21日（日）、真栄公園前の御料線沿いに長さ130mに渡って花植えをしました。清田有楽町内会も5月21日（日）、66名が参加してサルビア、ペチュニア、マリーゴールドなどを植えました。

真栄第二町内会

東真栄町内会

神威岬にバス遠足 真栄第四町内会

真栄第四町内会は6月16日（金）、バス遠足で神威岬と島武意海岸に行ってきました。41名が参加。コロナ禍で中止していたため4年ぶりのバス旅行でした。エゾカンゾウが咲き、積丹ブルーの海に感動しました。お昼は積丹町の食堂で海鮮丼をいただきました。

コロナが少し下火になったことで、バス旅行など各町内会の親睦行事が復活しつつあります。

真栄第四町内会の皆さん

清田地区入植150周年記念！

清田まち歩き 歴史散歩 地域のルーツを辿る

清田地区発祥の地である清田小学校周辺の碑や歴史の痕跡を訪ね歩く「清田区まち歩き講座」が6月24日（土）、清田区民センターの主催で行われました。12人が参加し、郷土史家らから説明を聞きながら、清田小学校前の開拓功労碑、厚別（あしりべつ）神社の旧本殿、清田緑地内の厚別神社発祥之地碑などを見て回りました。「清田公園は昔、蛇行した厚別川が流れていた場所です」という説明に参加者は驚いていました。

「厚別神社発祥之地」碑を見学＝清田緑地内

清田区民センター 区役所周辺へ移転

清田区民センター

場所選定は地下鉄延伸に向けた配慮を

札幌市は、清田区民センターを区役所周辺へ移転させる作業に着手しました。市は6月2日、本年度補正予算案を発表し、この中に清田区民センター移転計画策定費2300万円を新規計上しました。2300万円のうち、基本計画策定費が850万円、地質調査費が1450万円です。

移転場所について、市は、清田区まちづくり区民会議幹事会に①区役所玄関前のロータリー②市民交流広場の2案を6月に提示しましたが、異論があり、市は最終的な場所は未定としています。完成年度も未定ですが、北海道新聞の報道では2028年度前後の予定だといいます。

現区民センターは、まだ耐用年数があるため残します。清田町連と清田まちづくりセンター、あしりべつ郷土館は、新築する区民センターには移らず、現区民センターに残ります。新区民センターではスペースが大幅に減らされるうえ、施設使用料が新たにかかり、駐車場が狭隘となるなどの理由からです。

新区民センター建設に当たっては、将来の地下鉄延伸（地下鉄清田駅＋バスセンター）を想定した配置にしてほしいと、地下鉄東豊線建設促進期成会は市に要望しています。

また、区役所裏の急な坂道について、区民センターの新設で車が増えて危険になる恐れがあることから、地元の新平岡町内会は「きちんと市道として整備してほしい」と要望しています。（川島亨）

町連パークゴルフ大会を開催

清田町連パークゴルフ大会が7月2日（日）、厚別川河川敷のパークゴルフ場まがもコースで行われ、男女23名が参加しました。お米やビール、ソーメンなど賞品も豪華で、参加者は和気あいあいとパークゴルフの腕を競い、親睦を深めました。

町連パークゴルフ大会に参加した皆さん

清田公園と厚別川でごみ拾い 不法投棄パトロールも実施

清田地区町内会連合会と清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会は6月3日（土）、清田公園のごみ拾いと、真栄・有明地区での不法投棄パトロールを実施しました。NPO法人あしりべつ川の会は5月28日（日）、地域住民と共に厚別川両岸（厚別橋～北野橋）の堤防と河川敷のごみ拾いを実施しました。

清田公園でごみ拾い

令和5年度 清田地区町内会連合会 役員

役職	氏名	備考
顧問	牧野 晃	前清田地区町内会連合会会長
会長	猪野毛 昭男	清田町内会副会長
副会長	住吉 誠一	真栄第一町内会副会長
	田崎 克文	清田地区福まち運営委員長
	片倉 武吉	真栄第二町内会体育部長
監事	設楽 省三	真栄第四町内会
	長屋 俊一	真栄第二町内会
理事	濱本 武司	清田町内会会長
	佐藤 静也	清田有楽町内会会長
	髙橋 弘吉	新平岡町内会会長
	森 雅司	真栄第一町内会会長
	星加 文雄	真栄第二町内会会長
	藤本 勝治	真栄第三町内会会長
	吉田 和久	真栄第四町内会会長
	大橋 秀雄	東真栄町内会会長
	山田 まゆみ	真栄団地町内会会長
	橋本 國彦	美しが丘町内会会長
	砂田 喜市	有明町内会会長
総務部長	片倉 武吉	清田地区町連副会長兼務
財務部長	友峯 信夫	真栄団地町内会監査役
福祉厚生部長	宮下 敬敏	真栄第一町内会福祉厚生部長・会計部長
保健衛生部長	林 一彦	真栄第一町内会保健衛生部長
防災防犯部長	小竹 克美	真栄第四町内会防災防犯部長
交通安全対策部長	今野 哲郎	清田有楽町内会交通安全対策部長
青少年育成部長	上杉 郁美	新平岡町内会青少年育成部長
女性部長	三上 美由紀	東真栄町内会
体育部長	成田 智	清田有楽町内会体育部長
広報部長	川島 亨	真栄第四町内会

令和5年度 清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会 役員

役職	氏名	備考
会長	猪野毛 昭男	清田地区町内会連合会会長
副会長	田崎 克文	清田地区町内会連合会副会長
	片倉 武吉	清田地区町内会連合会副会長
	阿部 哲夫	清田地区不法投棄ボランティア監視員協議会会長
	山田 敏夫	清田地区商工振興会会長
	櫻 修二	あしりべつ川の会理事長
事務局長	住吉 誠一	清田地区町内会連合会副会長
会計	友峯 信夫	清田地区町内会連合会財務部長
監事	設楽 省三	清田地区町内会連合会監事

令和5年度 清田地区社会福祉協議会 役員

役職	氏名	備考
会長	猪野毛 昭男	清田地区町内会連合会会長
副会長	住吉 誠一	清田地区町内会連合会副会長
	片倉 武吉	清田地区町内会連合会副会長
事務局長	片倉 武吉	清田地区町内会連合会副会長
会計	友峯 信夫	清田地区町内会連合会財務部長
監事	設楽 省三	清田地区町内会連合会監事
	山本 顕之進	真栄第一町内会

令和5年度 清田地区福祉のまち推進センター運営委員会 役員

役職	氏名	備考
委員長	田崎 克文	清田地区町内会連合会副会長
副委員長	三上 将之	清田地区老人クラブ連絡協議会会長
	小山 眞	清田地区民生委員児童委員協議会会長
広報部長	清水 延明	エンブレム清田自治町内会顧問
ふれあい部長	石幡 清子	真栄第一町内会女性部長
研修部長	小山 眞	清田地区民生委員児童委員協議会会長
生活支援部長	三上 将之	清田地区老人クラブ連絡協議会会長

清田まちづくりセンターより

こんにちは。新型コロナウイルスが落ち着き、町内会は夏まつりが再開されるなど、まちの賑わいも戻ってまいりました。

まちづくりセンターでは、引き続き地域の皆さまの賑わいづくりのお手伝いをさせていただくとともに、地域の方々が安全・安心に暮らせるよう防犯ボランティアの方々へのサポートをはじめとしたさまざまな取り組みにつきましても進めて参ります。

清田緑地に面した清田まちづくりセンター（清田区民センター内）は、所長1名と支援員2名で運営しておりますが、今春から所長と支援員1名が新たに着任いたしました。職員一同皆さまのお越しをお待ちしておりますので、お近くに来られた際はお気軽にお立ち寄りください。（清田まちづくりセンター所長 小原靖訓）

清田まちセン職員の皆さん

真栄団地町内会「青い鳥子ども会」の活動

真栄団地町内会の「青い鳥子ども会」は、子どもたちが一緒になって遊び、仲良くなることを目的に、昭和57年（1982年）から活動しています。41年目となる今年度は5月から活動をスタートしました。

コロナ禍で活動が制限され一時期は8名まで減り存続も危ぶまれる時がありましたが、様々な方にご協力をいただいたお陰で、19名の子どもたちで活動しています。

昨年度は、岩見沢市の北海道グリーンランドへの旅行、ハロウィーンパーティー、クリスマス会などを行いました。中でも、ハロウィーンパーティーは仮装して集まり、講師を招いて自分だけのキャンドルを作るなど親子で楽しむことができました。

昨年のハロウィーンパーティー

今年度も青い鳥子ども会の活動を通じて、親子共々地域の交流を深めて行きたいと考えております。真栄団地町内会の3歳から小6のお子様で入りたい方がおりましたら、気軽にご連絡下さい。（真栄団地町内会「青い鳥子ども会」渡邊大介）

ご存じですか？ 相談支援事業所ノック 地域支援員の活動

荒川倫代（相談支援事業所ノック　地域支援員）

障がい者相談支援事業所ノック（真栄1条2丁目1−28、真栄ビル1階）は、札幌市の委託を受け、障がい者の相談支援を行っています。2009年に開設し、今年で14年になります。清田区では、相談支援事業所は当所1か所のみの設置となっています。

2012年1月に起きた白石区姉妹孤立死事件を機に、翌2013年には「地域支援員」を配置する障がい者相談支援事業所のモデル事業が札幌市内で発足し、今では札幌全区の相談支援事業所10か所に「地域支援員」が配置されました。

もともと障がい者相談支援事業所は、障がい当事者や家族、行政機関の他にも、地域支援業務の一環として、地域のあらゆる方々の相談を受けることになっていましたが、「こんな相談しても良いのか…」とためらう方が多く、なかなか相談に結びつかずにいました。

「地域支援員」が配置されてからは、積極的に働きかけていくことになり、いまは民生委員、福祉事業所、ご親族からの相談が増えつつあります。

「8050世帯」（80代の親が50代の子の生活を支える世帯。背景にあるのは引きこもりの高齢化と言われています）の問題や、何らかの課題がある方、引きこもりの方など、「もしかしたら困っているかも」の「かも」の段階で私たちにつなげていただけると、一緒に知恵を出し合い、早期解決ができるかと思います。

実際にあった話です。入院中の障がい者のお家は荒れ放題、樹木は伸び放題、スズメバチが群生。このようなご相談にも対応しています。地域で気がかりの方がいらっしゃいましたら、是非ご一報ください。

●場　所　真栄1条2丁目1−28、真栄ビル1階
●相談時間　平日9時〜18時　土曜日9時〜12時
●電　話　011-378-4244

障がい者相談支援事業所ノックがある建物

きよた文苑

真栄第一町内会 山本顕之進

短歌

待ちわびた冬の祭典雪まつり
世界に誇る歴史の遺産

厳冬に安産祈願馬追いの
ドドッと響く雪けむり

淀川に招かざる客マツコウクジラ
生きて帰れの願い届かず

WBC侍いジャパン六試合
チームワークで悲願の勝利

世界一技と技術と思いやり
WBC侍いジャパン

鮮烈に前人未踏翔タイム
世界に誇る二刀流

待ちわびた孫の結婚晴れ姿
堅い契りの夫婦雛

一年生仲良し友と手をつなぎ
背にピカピカのランドセル

熊五郎昔はサケで今は牛
食料事情も変化のきざし

憂うべき世界に戦火飛び火して
あわれ犠牲は罪なき民ぞ